

子育て支援へ
5日公開シンポ

岡山大

「産科発の子育て支援」をテーマにした公開シンポジウム（岡山市子育てネットワーク研究会など主催）が5日午前9時から、岡山市北区鹿田町の岡山大鹿田キャンパスで開かれる。

同大学院の中塚幹也教授が、子育ての不安解消に向けて産科施設が積極的にかかわるための方策について話すほか、生後4カ月までの乳児のいる家庭を保健師らが訪問支援する国の「こんにちは赤ちゃん事業」の説明や子育て支援グループに

ついでに講演もある。

無料。定員100人。申し込み不要。問い合わせは同大（086-235-6538）。

シンポジウム:切れ目ないケアを 妊娠中から産後へ、支援考える /岡山

妊娠中からの母子支援や産後の子育て支援について考える公開シンポジウムがこのほど、岡山大鹿田キャンパス(北区)であった。

「産科発の子育て支援 出産はすべての母子が通る道」をテーマに、民間団体「岡山子育てネットワーク研究会」などが主催。助産師や子育て中の母親ら約100人が参加した。

岡山大大学院保健学研究科の中塚幹也教授は、「児童虐待や育児不安などを解消するには、妊娠中のリスク把握と胎児への愛情形成を促すことなどが大切。また、支援が手薄になる出産後も含めた切れ目のないケアが求められている」と話し、産科医療と地域ネットワークの連携の必要性を強調した。

シンポジウムでは、このほか助産師やNPO団体などが子育て支援活動を紹介。岡山市保健所健康づくり課の武田亜希子さんは、生後4カ月までの赤ちゃんがいる市内の家庭を愛育委員(訪問ボランティア)が訪ねる「こんにちわ赤ちゃん事業」を報告した。武田さんは「岡山市内の約80%が核家族。1人で頑張り、育児に疲れている母親が多い。子育てを経験した愛育委員が不安や悩みに耳を傾けることで虐待予防にも役立っている」などと話した。【坂根真理】

Living

リビングおかやま

2009年9月5日(第1203号)

本紙に掲載されたプレゼントやアンケートに応募された方には、協賛社や協力社からお知らせ(商品資料)などが届くことがあります
リビングおかやまの記事・広告・チラシ配布についての問い合わせは…TEL.086-235-2200 岡山リビング新聞社へ



●公開シンポジウム
「産科発の子育て支援」
出産はすべての母子が通
る道」 9月5日午前9
時〜午後0時30分、岡山
大学鹿田キャンパス(北
区鹿田町)保健学科棟3
階・301大講義室。助
産師や子育ての専門家7
人による講演。参加無料。
申し込み不要。

☎086(235)6538
岡山大学大学院保健学研究
科育成プログラム事務局